慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序
Sub Title	
Author	石川, 忠雄(Ishikawa, Tadao)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1977
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.50, No.1 (1977. 1) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	手塚豊教授退職記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19770115--005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

定年制が施行されているため、毎年学年末になると、その該当者を送り出さなければならない。やむを得ないこととはいつても、我々にとつては、まことに心苦しくかつ淋しいことである。

ところで、本年度は手塚豊先生が御退職になられるが、身近な先輩として長いこと親しく御指導を受けてきた我々にとつては、ことのほか惜別の情を禁じ得ない。先生は、昭和十二年十月本塾職員として勤務を始められてから、予科教授、学部教授として現在に到るまで、一貫して、学生の教育指導と研究に従事されてきた。しかも御専攻の明治法制史の分野で比類のない業績をあげ、学界に貢献されてきたことは、別に掲げる著作目録からも明らかな通りである。しかも一般学生に対しては、法学通論ないしは法学の講義を通じて、法律学についての興味と学習の意欲を植えつけてこられた。まだ確固たる意志も定まらない初学者に対して、こうした意欲を振い起させてきた教育効果は、はかりしれないものがある。それらは、わが法学部にとつて、いわば看板講義として誇りにしてきたものであるが、これからは、それもきかれなくなる。まことに残念である。また、学部の運営についても、その豊富な御経験に基づいて、われわれを指導し、率先して模範を示めされた。こうした先生の多大の業績に対して、我々はここに心からなる敬意と感謝の念を新たにするものである。

我々のこうした気持を表わすため、先生に記念論文集を捧げることにしたが、幸いにして多くの方々の協力によつ

て、その計画を実現することができた。このささやかな成果が、先生の御指導に対する我々の感謝の念を表わすものとして、お受けいただければ、それは我々一同の心からなるよろこびである。

先生が御退職になられたとしても、なお多くの御指導をいただかなければならないことは、いうまでもない。今後とも御健康に留意され、ますます御活躍下さるとともに、なお末長く変らぬ御指導をたまわることを、心からお願い申し上げたい。

昭和五十二年一月

法学部長　石川忠雄